

# がん哲学カフェinすみだ

## 第1回がん哲学外来とカフェを開催！！

8月22日(水)午後6時から8時、墨田区役所21会議室で、墨田区での初めてのがん哲学外来とカフェを開催しました。

参加した方は、がん患者さん4人と家族の方4人、医療福祉関係者が10人でした。がん哲学外来の個別相談を3組の方がご利用されました。

初の試みでありながら、カフェをやりながらの外来で、スタッフもあたふたしてしまい、ご迷惑をおかけしたかもしれませんが、なんとか無事に終えることができました。

みなさんの中で、がん哲学ってなんだろう？樋野先生ってどんな方？という疑問もあったと思います。しかし樋野先生の講和を聞き、その後カフェという形でお茶を飲みながら語り合う場を体験し、初めて会った人達が、自己紹介やここへ来た経緯を話し、役割ではなく人としての話をすることができたと思います。

がん哲学外来として、3組の方が樋野先生の個別相談を利用されました。それぞれに思いを言葉にして語り、この時間を共有できたことは何らかの気持ちの糧になったのではないのでしょうか。

がんであること、がんであることから直面したいいろんなこと、諸々の生きるための課題をちょっと引いた角度で見ると、違った側面や形が見えてきたり、他のものが見えて、そのことがとても小さくなったり、そんな体験ができる場所になればと思います。

まだまだ、形が整うまでは時間がかかりそうですが、どうか皆さんで支えていってこの場を作ってくださいませ！！

## がん哲学外来とは・・・

(2011佐久宣言から抜粋)

がん患者・家族の苦痛の軽減・療養生活の質の向上を目標とし、がん医療に関する相談支援・情報提供があげられるが、『がん哲学外来』は一般的ながん相談やセカンドオピニオン相談と異なり、患者の生き方やスピリチュアルな問題について患者と十分に対話するものである。

がん患者・家族はがんとともに生きていく上で、病気を治すことだけではなく、人とのつながりを感じ、尊厳を持って生きることを求めている。

以上が、がん哲学外来市民学会代表の樋野先生の設立趣意書の内容です。詳しくは <http://www.shiminkaikai.org/> にアクセスを！

「がん」を恐れない、「がん」で死なない地域づくり、してみませんか。

## がん患者サポート研究会「きぼうのにじ」って？

私たち『きぼうのにじ』は、がん当事者を含む医療関係者と墨田区職員中心の研究会です。

がん患者への施策はとかくターミナルに目が向きがちですが、私たちは、がん患者が生き生きと生活するために必要な資源や場、施策は何かを考えるために、いろいろな立場の講師を招いてがん患者の置かれている状況や社会的な背景を勉強しているグループです。

現在、私たちは「がん哲学外来カフェ」を含む、がん患者・家族に必要な場や資源を提供していくためのNPO法人の立ち上げを予定しています。このことにご関心のある方ぜひご参加を！！

「がん哲学カフェinすみだ」は隔月(偶数月)1回第1水曜日の6時～8時に開催する予定です。

がん患者さんはもちろん、ご家族や医療福祉関係の方などのご参加をお待ちしています。

お問い合わせ・参加申込み:『きぼうのにじ』事務局;訪問看護ステーション“みけ”Tel 3626-2317 椎名、または、E-Mail; [fresca-mike@r3.dion.ne.jp](mailto:fresca-mike@r3.dion.ne.jp) まで、宜しくお願いします。